

■□■□■□■□■□■□■□■□■
■□■
■□■ 岐阜県地域医療情報メール
■□■ 2013/11/27
□■□■□■□■□■□■□■□■□

- 「★ トピック ★
- | □ 岐阜県における在宅医療の推進について
- | □ 医療通訳ボランティア派遣システム実験について
- | □ 臨床研修マッチング二次募集について
- ト ★ 医療機関からのPR ★
- | □ 【木沢記念病院】医師海外留学制度の設立について
- ト ★ イベント情報 ★
- | □ 岐阜県医学生体験セミナーのご案内

==★ トピック ★=====

- | ■ 岐阜県における在宅医療の推進について

岐阜県では、今後高齢化により、要介護（支援）認定者が増える見込み（2010年：約7万9千人→2030年：約12万4千人と推計）ですが、同時に、通院困難で在宅介護や在宅医療を必要とする方も増えることが予想されます。

高齢化は、死亡者数の増加（2010年：年間約2万人→2030年：約2万8千人と推計）ももたらしますが、病院の病床数が限られており増床も見込めない中、地域の空き病床の確保や医療機関の経営の観点等からも自宅での看取り体制整備の必要性が高まっています。

自宅で最期を迎えたいということは、何より多くの人の思いでもあります。
平成20年に厚生労働省が実施した「終末期医療に関する調査」では、一般市民の60%が自宅を終末期の基本的な療養場所として希望していることが明らかになりました。

こうした状況の中、岐阜県では、平成25年度から5年間の保健医療行政の基本方針を定める「第6期岐阜県保健医療計画」において、在宅医療体制の構築について明記し、その推進の方向性を打ち出しました。
また、国の平成24年度補正予算を活用した「第3次岐阜県地域医療再生計画」においては、在宅医療の推進にかかる事業を主軸に位置付けています。

計画では、多職種連携による在宅医療提供体制整備のための地域在宅医療連携推進事業や、診療情報共有ネットワーク構築事業、在宅医療を支える人材育成推進のための医療関係者向け研修実施事業、がんに対する在宅医療体制整備事業、障がい児者等に対する在宅医療体制整備事業など、多種多様な事業が盛り込まれています。

また、今月5日には、県医師会、歯科医師会、病院協会、薬剤師会、看護協会、理学療法士会、介護福祉士会の代表等で構成される「岐阜県在宅医療連携会議」の第1回会議が開催され、県全体で在宅医療を推進していくための意見交換が行われました。今後、会議での意見聴取結果などを踏まえ、事業が実施されていく予定です。

【岐阜県政策研究会 在宅医療の推進について】

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei-unei/seisaku-plan/choki-koso/kenkyukai/index.data/report250304.pdf>

【岐阜県医師会HP 在宅医療】

<http://www.gifu.med.or.jp/zaitaku.html>

■ 医療通訳ボランティア派遣システム実験について

岐阜県では、県内に住む日本語が不自由な外国人の方が安心して医療機関を受診することができるよう、医療機関の依頼に応じて医療通訳ボランティアを派遣するシステムの構築に向けて、県内の一部医療機関において、現在実証実験を行っています。

当県には、約4万4千人の外国人の方が居住しており、県民に占めるその割合は、47都道府県中第5位です（『住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成25年3月31日現在）』）。

医療通訳の整備は全国的にも進んでおりますが、外国人の方が多く居住する当県においては、特に必要な取り組みであると言えます。

実証実験は平成24年7月に開始し、現在県内の11の医療機関において実施されています。平成25年10月末現在、これまでに150件程度の派遣依頼要請がありました。

医師からは、実際に医療通訳を利用することで、「助かった」との声をいただいております。

また、病院のケースワーカーからは、「通訳を利用して分かったことは、実は患者が医療機関の説明等をわかっていなかったということ」との感想もあり、外国人の方が診療内容を適切に理解するために、医療通訳が実際に重要な役割を果たすことが分かってきています。

実証実験は平成26年3月まで行われる予定で、来年度以降の本格運用に向け、今後関係機関との会議や調整が行われます。

【岐阜県庁HP 医療通訳】

http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kokusai-koryu/tabunka/iryo_tsuyaku.html

【ぎふ医療施設ポータル（県内医療機関を対応可能な外国語で検索することが可能）】

http://www3.pref.gifu.lg.jp/pref/s11229/teikyo/medi_syousai1.php?sc=09001

■ 臨床研修マッチング二次募集について

先月号において、医師臨床研修マッチングの結果発表が10月24日に行われたことをお伝えしましたが、先のマッチングでアンマッチとなった方のために、マッチング協議会ホームページで二次募集を予定している病院の一覧が掲載されています。

アンマッチとなり、未だ再マッチされていない方は、参考としてください。

【マッチング協議会HP 二次募集を予定している病院（毎日更新）】
<http://www.jrmp.jp/>（リンク先にアクセス、「What's new」から）

==★ 医療機関からのPR ★=====

■ 【木沢記念病院】医師海外留学制度の設立について

世界で学び、この地で活かす、次代の医師へのメッセージ。

現在の医療界において、医師がキャリアを形成していく上で非常に有意義であると考えられてきた「外国留学」を選択する医師が減少する傾向にあります。

これは「留学中の費用の公的援助がほとんど無くなっていること」が原因として考えられます。国内では身につけることが難しい知識や技術を修得する。その貴重な機会を得られずにキャリアを積んでいくことは、医師個人だけでなく国内全体の診療レベル向上を妨げる原因にもなります。

私たちは質を確保できる医師の存在にこだわっています。木沢記念病院では、日本の民間病院における診療レベル向上の重要な担い手である大学病院からの留学者数の減少に歯止めをかけ、一方で民間病院の医師にも国際的実力を養う機会を提供することを目的として「医師外国留学奨学金制度」を設立しました。金額は200万円～500万円で、帰国後、木沢記念病院で一定期間勤務していただく等の条件を満たした場合、奨学金の返還が免除されます（一部奨学金については勤務義務なしで免除）。

詳しくは木沢記念病院のホームページをご覧ください。
（文責：木沢記念病院総合企画課）

【病院HP 医師海外留学奨学金制度】

http://kizawa-memorial-hospital.jp/oshirase/news/2013/1306/doctor_scholarship.html

【木沢記念病院 facebook ページ】

<https://www.facebook.com/Kizawa>

